

平成28年度第4回新居浜市地域包括支援センター運営協議会
兼 第2回地域密着型サービス運営委員会 議事録

1 開催日時 平成29年3月23日(木) 14:00~15:30

2 開催場所 市役所3階 応接会議室

3 出席者

委員：浅井委員、岸委員、坂上委員、定岡委員、西原委員、土岐委員、松井委員、宮内委員、山内(富)委員、山内(保)委員、山本委員(11名)

事務局：地域包括支援センター 所長・古川、副所長・伊藤、副所長・亀井、係長・佐々木、係長・越智、コーディネーター・谷本
介護福祉課課長・加藤、副課長・石川、主査・石井

4 会議内容

第2回新居浜市地域密着型サービス運営委員会

(1) 地域密着型サービス事業所の審査

第4回新居浜市地域包括支援センター運営協議会

(1) 地域包括支援センター平成29年度予算について

(2) 各種懸案事項への取り組み状況について

(3) 認知症初期集中支援チーム検討委員会議案(チーム活動報告等)

(4) 新居浜市生活支援体制整備協議体協議事項

(5) その他(次回開催協議、他)

5 傍聴者 0人

6 議事録

会長	定刻となりましたので、ただいまから、平成28年度第4回新居浜市地域包括支援センター運営協議会、並びに第2回新居浜市地域密着型サービス運営委員会を開催いたします。 委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただき厚くお礼申し上げます。 まず、議事に入ります前に、本日の進行につきまして確認をいたします。 先にお送りしております会次第にありますとおり、本日はこのあと地域密着型サー
----	---

	<p>ビス運営委員会を開催いたします。地域密着型サービスの事業譲り受けについて審査を行います。審査は非公開で行います。事務局は介護福祉課です。</p> <p>続いて、地域包括支援センター運営協議会を開催します。これは公開となります。予定では14時30分からの開催となっています。事務局は地域包括支援センターです。</p> <p>本日の進行についてのご質問はありませんか。</p> <p>では、委員の出席状況ですが、本日の会議は、委員数14名に対し、出席委員10名で、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条及び地域密着型サービス運営委員会設置要綱第6条の会議の成立要件であります過半数以上の出席を満たしております。では、地域密着型サービス運営委員会に入ります。委員の皆様のご忌憚のない活発なご意見をお願いいたします。</p> <p>それでは、議題(1)の「地域密着型サービス事業所の審査」について、事務局に進行をお願いしたいと思います。</p> <p>事務局において審査進行 — 非公開</p> <p>以上で地域密着型サービス運営委員会を終わり、続いて地域包括支援センター運営協議会に移ります。</p> <p>それでは、これより地域包括支援センター運営協議会に移ります。事務局は傍聴者の確認をお願いします。本日の議題は4つです。いずれも報告議題となっています。まず地域包括支援センター平成29年度予算について、そして各種懸案事項進捗状況について説明をお願いします。</p> <p>事務局 資料2、3説明</p> <p>会長 では、ただいま報告のありました「地域包括支援センター平成29年度予算」それから「平成28年度懸案事項」それぞれにつきまして質問とご意見を伺います。どちらについても構いませんが、何かありませんでしょうか。</p> <p>委員 今、古川所長の方から説明のありました中で、業務仕様書のところの4番の地域ケア会議の開催、事例検討型のケア会議を年1回以上開催するという内容の説明がありましたが、地域ケアネットワーク推進協議会の開催というふうなものも業務マニュアルには書いていませんけども、かっこ書きか何かで加筆しておいた方がいいのでは。</p> <p>事務局 別契約にしていますので、ここには入っていません。私も検討の過程でなぜ抜けて</p>
--	--

<p>委員</p>	<p>いるのか聞いて、ああそうだったと思いました。</p> <p>期待ということでの意見を聞かせてもらいたいのですが、健康長寿コーディネーターのところ、3ページに書かれている見える化のツールの検討ですね、ぜひともすぐいい情報を包括支援センターは、持っていると思います。社会資源のことについても、すごく旬な情報を随時持っているので、それをどういうふうにしたらいいのかわかりませんが、ぜひこの見える化を早く実現できたらと期待しています。</p>
<p>事務局</p>	<p>見える化について、状況としては、第2回の際にご説明した状況と変わっておりません。ただ、この後ご説明しますように、第一層コーディネーター活動により、いろいろ情報が現在集まっているところで、今回は、ペーパーベース化でとりあえず動いています。ペーパーベースというのはもったいないと内部的にもありますので、いいツールを探せ次第、見える化は頑張りたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>地域ケア会議の充実というところで、実施に向けた国のモデル事業にエントリーされているということですが、個別会議に関しては、軽度者を中心にして強化するという国の方向性が出ておりますけど、新居浜市でできることと、おそらくモデル事業になれば、県とか国とか介入してくると思いますが、期待としてはどのあたりにあるかを伺いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>参加を検討中で、2月の時に、試行的研修が2回次年度分でありましたが、その時には和光市のモデルだけで研修をしました。国の方も、和光市のモデルを広めているわけではなく、これは一つの例として研修で取り上げましたというお話をお聞きしたので、軽度者というのは、要介護になるのか自立に向かうのか、非常に変動しやすいところにあるという点を考えると、軽度者に絞ってケア会議をするというのは、私としてはいい考えだと思います。</p> <p>今現在うちでやっているのもそういう点でやっているもので、その辺はぜひノウハウをもらいたいと思っておりますが、ただ様式であるとか、会の進め方であるとか、司会の持っていく方であるとか、そういったところはかなり検討が必要であり、新居浜市でできるかどうかは検討が必要で、そのところは、すり合わせの部分で、ぜひ県の支援を頂きたいとは思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>県の方の介護予防担当というところが中心になると思いますが、和光市そのものは、国立保健医療科学院の国のそうそうたる人材が、モデル地域として市そのものを使っているのです、全国でもトップレベルの対策を立ててやっていると思うので、それと愛媛の一つ一つの自治体のすり合わせ、それと誰がその支援をするのかというあたりが、非常にまだ混んとしているような状況なので、ちょっとその辺を伺っておかないと、人材にしても和光市とは全然違いますし、保健の介護予防係の人材もそんなにたくさんいるわけではないので、少し希望を聞いておいた方がいいかなというふう</p>

に思ったわけです。また、詳細のところを、主管部局の方にぜひ伝えておいて頂いた方がいいのかなと思いました。

もう一点は、包括支援センターの委託化ということで、基幹型が中核にできる、これはもう全体的なコーディネートができるというのは、一つの形で、松山市、今治市が、4月からは全面そういう形になりそうですけれども、そのあたりでメリット、デメリットがあろうかと思えます。これだけの期待された内容を、委託によって複数の支援センターにどうやって、何を託し、中核が何を持つのかというあたりの議論をぜひきちんとされた上で、予算的にかか人員的にかか管理的に無理だから分けようかということになってしまわないようにだけ、ちょっと気になるものですから。

松山市では、現在、委託を10ヶ所というふうになっていますけれども、受ける側に人材がそろわない、それでもし4つなり5つに委託をした時に、そこに必要な人材がきちんと確保できるかどうかの見通しとか、そういう面では、少し年数をかけてしないといけないのかなと伺いながら思いましたので、ぜひ、いいものをいい体制をとという方向で検討をして頂いたらと思います。

事務局

ありがとうございます。委託の問題については、宮内先生、委員さんがおっしゃられた通り、事務局内でも慎重に進めていかないとと思っています。今現在、直営でしておりますので、実は直営でしているから直営の良さを自分たちがあまり見えていない可能性があると思個人は思っています。私が来てからまだ1年目で日が浅いので、直営の良さを最初にすごく感じた方ですけども、やはり日々業務をしていくと、それが日常になりますので、わかりにくいのかなというところがあります。やはり直営ということになると、判断のスピードでありますとか質の確保ですとか、そういったものについて非常に目が行き届いて動きやすい。それぞれ組織が分かれていくと、それぞれの解釈が生じてくるとか、動きに対して新たな管理が発生するとかがあると思いますので、やみくもに委託ありきとするのではなくて、先生がおっしゃられたように、長短両面しっかりと見据えてすべきではないかと思えます。その場合でも、今治が一部直営を残したように、新居浜の場合だと、仮に4圏域のまま委託するとしても、市役所のある川西には例えば直営で残して、後の3圏域が委託であるというふうなことで、間の形をとることで、直営型の介護予防支援の部分の運営の水準にしても双方がすり合わせとか、できる体制を残すとかいろいろ間の方策も含めて、よく検討すべきかと考えております。ただ、やはり当初、包括が始まった時の事業の介護予防支援の業務量、それから相談業務の業務量に比べまして、その後の事業の拡充がかなり大きいので、先ほど申しあげましたように、コーディネーター第二層4人の配置だけで39人というような規模になって、介護福祉課の人数を超えています。庁内でも2番目になろうかというようなことになってきますと、やはりこれはこれで市役所の組織としてもこの規模、まだ増える可能性もあるということであると、一度見直しはきちんとしておかないといけない段階だと思っております。

あと、担当が一番率直なところを言いましたが、地域ケア会議について、和光市の形について良し悪いいろいろ全国的にも、好みも含めてあるということを知っています。

	<p>すし、私自身も良し悪しで個人的な感想を持っているところがあります。新居浜において同じ方向をとることで、件数をこなしていけるのかとかいうような部分も具体的な業務量として問題もありますし、別な部分で言うと会計検査員の意見もあったので、変更の余地もあるかもしれないですが、減額の基準として地域ケア会議で認められているかどうかというところが国から出されています。集中減算ですかね。その取り扱いからすると、自立支援でありますとか介護予防の部分だけではなくて、集中減算に係るものをケア会議にかけるとするとどうなるのかというところも全体的なもの、それからもう1つはプラン検討型と事例型の2種類をうまくバランスよく、実際当初の目的どおりに地域の声を生かした資源づくりにも生かしていく、連携が深まるような動きということなので、2種類あるので大変混乱して、先日、ある会でも事例検討型について言っても、ひょっとするとそれを耳にしたケアマネージャーさんは、ケアプラン検討型のイメージでとらえてしまう恐れもあるので、その辺りを慎重に取り扱う必要があるだろうと、説明も丁寧にする必要があるだろうというようなことだったんですけども、全体的に、新居浜市にとって、新居浜市の将来にとって、いい形というものを模索しながら、でもせっかくの研修の機会はチャンスととらえて、もらうべきものはもらっていくという姿勢でいきたいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>短時間で効果的なマネジメントというか検討をしないといけないところでは、かなり研ぎ澄まされた判断力とかマネジメント力がないと、かえって混乱してはいけないので、関わる私たちがすごく頭を悩ましているところなので、お知恵をいただいたらと思ったんです。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>地域ケア会議についてのことですが、ケアプランの点検、ケアプランチェック、個別のケア会議、この辺をどうされるのかなというところで、松山市ではケアプラン点検、こちらをケア会議に重ねていこうかとしていますし、専門職がたくさんいるから負担をかけずにできるのかなという感じで、ただ、6時ぐらいから9時ぐらいまで3時間ぐらいかけてされているみたいです。このあたりで何か検討されていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>具体的な検討はまだしていませんが、ケアプランチェックについては、内部でも今の形でいいのかというところは、問題にはあがっています。今のやり方は、各介護支援専門員がそれぞれ自分のプランと委託プランと担当形式で持っているわけですが、自分が持っている分について、自分がケアプランを確認するというような形をしていますので、この中身についてどうであるかというのを相互に確認しあっている形ではないです。そのやり方で今後もいいのかというところは、職員全員が、ケア会議をさせていただいて、逆に疑問に感じてきてきているというところはあります。その辺も含めて、来年度あたり考えないといけないなということは、内部では話しています。</p>
<p>会長</p>	<p>ほかにありませんか。では無いようですので、議題の2と3は以上にいたします。次に議題4です。こちらは、前回の第3回運営協議会で決定しました認知症初期集</p>

	<p>中支援チームの検討委員会としての議案です。では、チームのこれまでの活動状況について、報告をお願いします。</p>
事務局	<p>資料5 説明</p>
会長	<p>では、ただ今報告のありました認知症初期集中支援チームの活動状況について、質問とご意見を伺います。</p>
委員	<p>疾患医療センターが中心になりますよね。チームの先生方の連携というところで工夫をしていることとか、新居浜市ならではみたいなどがありますか。</p>
事務局	<p>チームを設置する準備段階から、こんどう心療内科の近藤先生、武田先生、財団の豊田先生はご出席頂く機会は少なかったんですけど、事前に集まってどういうチームにしようかというあたりを話し合っていくうちに、いろいろ形が見えてきたということもありますので、チーム員の委託というあたりも、もともとは先生と同じように委嘱の方法を考えていましたが、身分保証のこととか、出やすさというあたりから、委託というふうに変わったりもしていますので、そのあたりなかなかよその県みたいに、チームまるごと委託というのがあります、部分委託というのあまりないかと思ったりとか、複数の先生がいらっしゃって、普通は1チームに一人の先生、チームが先生が三人いたら3チームという形が多い中で、その辺りが1チームだけでも出やすい先生に早く対応して頂けるような形を取っているのが、新居浜市の特性だと思いますので、その形を作るにあたって準備段階から先生たちのご意見をいただけたというあたりが、特徴かと思っております。</p>
事務局	<p>対応面でのドクター同士の部分で言うと、今回のケースでは、総合病院では内科にかかっている、そしてその総合病院に精神科のドクターがいらっしゃる。お父さん、ご本人さんの様子では、それ以外のところにつなげるのは難しいので、内科の先生と連絡を取り合う中で、内科の先生の総合病院内での動きとして上手につなげてもらうということ、チームドクターがご提案されて、その動きをして頂いたというところでございます。市内の各診療科の先生、総合病院を含めてですけれども、3人の先生以外の精神科等の先生との関係については、私たちも実際立ち上げて動きができて、ケースを見て、どこまでが可能なかというのは、疑問というか不安というか測りきれないところがありましたが、先生も本人さんの様子と状態から何が一番適切、一番すばやい動きになるかを見極めて、こういう柔軟なご提案をいただいたので、今後も個人の診療所の先生やそれぞれの精神科の先生のネットワークの中で、ご提案いただける方向で検討できるかと考えています。</p>
会長	<p>チーム員会議は1回開いただけで、またこれから何回か開いていただいて、また、こちらでご報告いただいてまた、検討を重ねたいと思います。</p>

事務局	<p>事例の詳しさは、これ以上詳しかったら事例検討になってしまいますので、協議するのに最低に必要な程度としてこの2番チームの稼働実績程度の紹介にしたので、これぐらいでよろしいでしょうか。かといって、1件しましたぐらいでは議論も何もできないかと思います。</p>
会長	<p>しばらくこれで続けていただいて、今後のチーム会議に支障がないか検討致します。</p> <p>では、議題4は以上といたします。</p> <p>健康長寿生活支援体制整備の取り組みについてです。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	事務局説明
会長	何か質問やご意見はないでしょうか。
会長	① から④までできて配布することよろしいですか。
事務局	<p>④ができるまで待つ、時間がかかってしまったらいけないので、早めに①、②なら①、②だけでもということでリリースしないと、せっかくの活動がもったいないと思っています。</p>
会長	<p>事業所の一覧表を頂いたことがあります、たまに1回頂いたらその後何年か間があいてしまうということがよくありますけど、これは毎年されますか。</p>
事務局	<p>コーディネーターの業務自体が社会資源の把握と啓発という部分ということでございますので、これは継続した業務と考えていただいて結構です。</p>
委員	<p>とても貴重な資料ができたと思います。先ほどもまだ変更が時々あるというお話がありましたが、冊子的にするのか、それともバインダー方式にして差し替え可能なようにするかによって、仕様のでき方が違うので、コスト面を含めて、毎年冊子を作ると相当なものになるだろうと思いますが、そのあたりのどういう形ですか、仕様も含めて差し替えが、本当に会長さんがおっしゃったようにしょっちゅう変わりますよね。そういうところを大切にタイムリーに差し替えられるように、差し替え資料だけを届けるというふうな方法で逐次解決していくと、とても効果的なものになるかなと思います。</p>
委員	<p>今は、処遇改善加算とか特定事業所負担とかの実績による変更というのも、全部の事業所ではないだろうけど、かなりの事業所負担が出るだろうなと思うと、こんなと</p>

	<p>ころで掌握していただけると事業所負担も減るし、情報が入るということではいいと思います。</p>
委員	<p>追加ですけど、将来的には介護保険の事業所だけでなく、今、介護予防とかいろいろいっているんで、そういった資源はまた差し込まれると、さらに自助、互助のしくみに生かされるのかなと思いました。地域系の自治会は載っていたので、これは突破口だと思えますが、いろいろ火種はあるようですし、保健センターあたりがつかんでいる情報もぜひ掲載できたらなと思いました。</p>
会長	<p>では、最後に平成 29 年度の開催予定について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>平成 29 年度ですけども、第 1 回の運営協議会ですが、できましたら 6 月の最終木曜か 7 月の第 1、第 2 までの木曜日あたりで開催したいと考えています。ただ、出納閉鎖があって、6 月上旬まではなかなか難しいということ、それから 6 月議会がその後始まる関係がありますので、そのあたりをみながら、なるべく早めに調整できればと思っております。今日の段階でいつがいいというふうに申し上げられないので、恐縮ですがそういうことでお願い致します。その他の議題ですけども、平成 28 年度の決算の状況、29 年度重要事業の状況、そして、本日ご説明した懸案事項の推移あたりをお願いして、さらに状況によりまして認知症初期集中支援チーム検討委員会、そして健康長寿生活支援体制整備の協議会の協議をお願いすることになると思います。平成 29 年度も当然 4 回はするんですけども、先ほど言ったように、計画等の流れによりましては、全体の計画は介護福祉課でするんですが、地域支援事業について特にお願いする必要があるれば、開催回数もしくは時期をこれまでとは変えることもあろうかとは思っていますので、ご協力を頂けたらと思います。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは予定しておりました議題はすべて終了いたしました。熱心にご協議頂きまして、ありがとうございました。これを持ちまして、本日の会議を終了致します。ありがとうございました。</p>